

※※2014年4月改訂（第9版 製造販売元の変更等）  
 ※2008年6月改訂（第8版 販売名の変更）

日本標準商品分類番号	
872649	
※承認番号	22000AMX01570000
※薬価収載	2008年6月
販売開始	1966年3月
再評価結果	1982年8月

経皮鎮痛消炎剤

# ※ハイシップ®スプレー

貯 法：温度が40℃以上となる所に置かないこと。

※※使用期限：4年。本剤の底面に表示の使用期限内に使用すること。

## Hiship® Spray

### 【禁忌】（次の患者には投与しないこと）

- (1)本剤に対し過敏症の既往歴のある患者
- (2)損傷皮膚及び粘膜  
〔刺激が強すぎることもある。〕
- (3)湿疹又は発疹  
〔増悪するおそれがある。〕

### 【組成・性状】

※ 販売名	ハイシップスプレー	
剤 形	エアゾール剤（外用）	
成分・含量 (1缶100mL中)	サリチル酸メチル	2,000mg
	サリチル酸グリコール	2,000mg
	ニコチン酸ベンジルエステル	40mg
	l-メントール	3,000mg
	dl-カンフル	3,000mg
	ジフェンヒドラミン	400mg
添加物	トコフェロール、スクワラン、ジメチルエーテル、液化石油ガス	
色調・性状	噴霧液はほとんど無色澄明な液で、特異なおおいを有する	

### 【効能・効果】

下記における鎮痛・消炎  
 関節痛、打撲、捻挫、筋肉痛、骨折痛

### 【用法・用量】

通常、1日1～数回、適量を患部に噴霧する。  
 （注：本剤は4秒で約1mL噴出する。）

### 【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）  
 乳幼児〔4.小児等への投与の項参照〕

#### 2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。（再審査対象外）

	頻度不明
過敏症(注)	発赤、発疹、腫脹等

(注) 症状が発現した場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

### 3. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳中の婦人には、治療上の有益性が危険性を上まわると判断される場合にのみ投与すること。  
 [妊娠中及び授乳中の投与に関する安全性は確立していない。]

### 4. 小児等への投与

乳幼児には刺激が強すぎることもあるので慎重に投与すること。

### 5. 適用上の注意

#### (1)使用部位

- 1) 眼又は眼の周囲には使用しないこと。
- 2) 患部まで約10cmの距離で噴射すること。
- 3) 同じ箇所に連続して噴射しないこと。

#### (2)その他

使用前によく振り混ぜること。

### 【薬効薬理】

ラットを用いて、本剤を局所皮膚に噴霧（原液として0.02mLあるいは0.08mL）により、血管透過性亢進、カラゲニン浮腫及び打撲浮腫に対し抑制作用を示した。また、アジュバンド関節炎抑制作用については、浮腫抑制作用は示さなかったが、軽度の疼痛閾値上昇をもたらした。(①)

### 【有効成分に関する理化学的知見】

(1)一般名：サリチル酸メチル

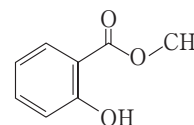
Methyl Salicylate

化学名：Methyl 2-hydroxybenzoate

分子式：C<sub>8</sub>H<sub>8</sub>O<sub>3</sub>

分子量：152.15

構造式：



性 状：無色～微黄色の液で、強い特異なおおいがある。エタノール（95）又はジエチルエーテルと混和する。

水に極めて溶けにくい。

沸 点：219～224℃

(2)一般名：サリチル酸グリコール

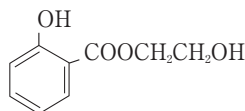
Glycol Salicylate

化学名：2-Hydroxyethyl salicylate

分子式：C<sub>9</sub>H<sub>10</sub>O<sub>4</sub>

分子量：182.17

構造式：



性状：無色澄明の粘性の液で、においはない。メタノール、エタノール (95)、ジエチルエーテル又はクロロホルムと混和する。水にほとんど溶けない。

(3)一般名：ニコチン酸ベンジルエステル

Benzyl Nicotinate

化学名：3-Pyridinecarboxylic acid phenylmethyl ester

分子式：C<sub>13</sub>H<sub>11</sub>NO<sub>2</sub>

分子量：213.23

構造式：



性状：淡黄色～褐色の粘性の液で、わずかに特異なにおいがある。皮膚や粘膜を強く刺激する。メタノール、エタノール (95)、ジエチルエーテル又はクロロホルムと混和し、水にほとんど溶けない。希塩酸又は希硫酸に溶ける。

(4)一般名：l-メントール

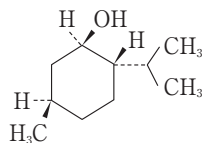
l-Menthol

化学名：(1R, 2S, 5R) -5-Methyl-2- (1-methylethyl) cyclohexanol

分子式：C<sub>10</sub>H<sub>20</sub>O

分子量：156.27

構造式：



性状：無色の結晶で、特異でそう快な芳香があり、味は初め舌をやくようで、後に清涼となる。エタノール (95) 又はジエチルエーテルに極めて溶けやすく、水に極めて溶けにくい。室温で徐々に昇華する。

融点：42～44℃

(5)一般名：dl-カンフル

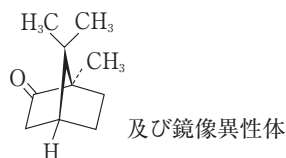
dl-Camphor

化学名：(1RS, 4RS) -1, 7, 7-Trimethylbicyclo [2. 2. 1] heptan-2-one

分子式：C<sub>10</sub>H<sub>16</sub>O

分子量：152.23

構造式：



性状：無色又は白色半透明の結晶、結晶性の粉末又は塊で、特異な芳香があり、味はわずかに苦く、清涼味がある。エタノール (95)、ジエチルエーテル又は二硫化炭素に溶けやすく、水に溶けにくい。室温で徐々に揮散する。

融点：175～180℃

(6)一般名：ジフェンヒドラミン

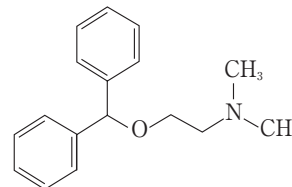
Diphenhydramine

化学名：2-(Diphenylmethoxy)-N, N-dimethylethylamine

分子式：C<sub>17</sub>H<sub>21</sub>NO

分子量：255.35

構造式：



性状：淡黄色～黄色澄明の液で、特異なにおいがあり、味は初め舌をやくようであり、後にわずかに舌を麻ひする。無水酢酸、酢酸 (100)、エタノール (95) 又はジエチルエーテルと混和する。水に極めて溶けにくい。光によって徐々に変化する。

## ※※【取扱い上の注意】

### 安定性試験

安定性試験 (室温、4年間) の結果、性状及び含量は規格の範囲内であり、ハイシップスプレーは通常の市場流通下において4年間安定であることが確認された。(②)

### 火気と高温に注意

● 高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。

1. 炎や火気の近くで使用しないこと。
2. 火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
3. 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40℃ 以上となる所に置かないこと。
4. 火の中に入れてはいけないこと。
5. 使い切って捨てること。

高圧ガス：LPG/DME

- 小児の手のとどかない場所に保管すること。
- 缶のさびによる破裂を防ぐために、水回りや湿気の多い場所には置かないこと。
- 捨てる際には、火気のない戸外でボタンを押しガスを抜くこと。

### 【包装】

100mL×10缶、100mL×50缶

### 【主要文献】

①堀野 一郎他：ハイシップ-Sの毒性試験ならびに抗炎症・鎮痛作用に関する検討. 基礎と臨床, 11 (7), 1931 (1977)

※※②ハイシップスプレーの安定性試験：社内資料, 資料番号 HSN-S-01

### 【文献請求先】

主要文献として上記に記載されている資料をご希望の方は下記にご請求ください。

日本臓器製薬 くすりの相談窓口  
〒541-0046 大阪市中央区平野町2丁目1番2号  
TEL (06) 6233-6085 土・日・祝日を除く 9:00～17:00  
FAX (06) 6233-6087  
ホームページ <http://www.nippon-zoki.co.jp/>

※※ 製造販売元

日本臓器製薬株式会社  
大阪市中央区平野町2丁目1番2号

® 登録商標